

## 新年のご挨拶

2019年元旦

きずな国際特許事務所

弁理士 和田 成則

明けましておめでとうございます。

昨年わが国は台風、豪雨及び地震等の自然災害に見舞われ、正に“災”の年であったかと思いますが、亡くなられた方々あるいは被災にあわれた方々には衷心からお悔やみ申し上げますとともにお見舞い申し上げます。

今年の干支は“亥”つまり“猪”ですが、中国では“猪”は“豚”を意味するとのこと、豚の肉は万病を予防する効果があり、“亥年”は無病息災の年だといわれており、景気が良くなることを期待しております。

さて、政治と経済は密接な関係がありますが、安部内閣は昨年10月2日に第5次安倍内閣が成立しましたが、安倍長期政権は私ども国民にとって必ずしも悪いことではないかと思えます。但し、長期政権に奢りができるような場合は勿論やめていただくしかないと思えます。

今年は天皇陛下のご退位及び皇太子の天皇陛下へのご即位という大イベントが待ち構えておりますが、天皇・皇后両陛下が国民に親しく寄り添い膝を交えて話をなされお姿は私ども国民に強く焼きついておりますが、新天皇・皇后両陛下におかれましても、そのような姿勢を期待するものであります。

安倍政権も今次をもって退任されるものと思えますが、発足当時のアベノミクスはどうなったのでしょうか。最近余り聞こえて来なくなりましたが、どこか飛んでいってしまったのでしょうか。安倍政権時代を振り返ってみても、私ども庶民には余り恩恵がなかったような気がします。

また、米中の貿易戦争は今後どうなるのか、私ども弁理士には関係がないように思われますが、多いに関係があります。

私ども弁理士業務は主に技術・商標等を主な業務としておりますが、技術・商標等に国境はありません。良い技術あるいは商品は国境をこえてグローバルに流通するものであり、その流通に関わっているのが私ども弁理士です。

米中間の貿易戦争は関税の報復合戦であり、この戦争はブーメランのように自国に跳ね返ってくるのではないのでしょうか。私どもとしては二大大国の話し合いによる早期解決を期待するものであります。

年をとると1年が早いように思われますが、今年こそ“災い”転じて“福”きたる年になるよう期待するものであります。

今年が貴社及び皆様方にとって益々のご発展とご多幸の年となるよう心より祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

